

1. 改善・改修方針 (令和3年第1回定例会報告)

- 一般車スペースの機能拡充と各交通の円滑な乗降機能の確保。
- 交通動線の機能に合わせた一般車、バス、タクシーの分離。
- 使いやすく、わかりやすい、国際化に対応した機能の充実。
- 防災・減災機能の強化。



2. 調査結果 (調査実施: 令和4年5月～ 10月集計)

(1) 交通量調査 (5/3(GW)、5/15(休日)、5/17(平日))

- 一般車の広場利用台数 (台/12h) …計画値261台⇒平日: 1,246台 (4.8倍)、GW: 2,002台 (7.7倍)。
- 一般車降車場での平均乗車時間 …計画値1分⇒平日: 5分39秒 (5.7倍)、GW: 5分6秒 (5.1倍)。
- 一般車整理場での平均駐車時間 …計画値10分⇒平日: 15分44秒 (1.6倍)、GW: 18分55秒 (1.9倍)。

➡ 一般車の利用台数・停車時間が計画値を大きく上回っている。⇒広場計画時(H13)と前提条件が大きく変化。

(2) 利用者アンケート調査・地元、事業者等ヒアリング調査 (6月～10月)

- 一般利用者 (N=349) …「一般車降車場・一般車整理場が足りない」42%、「見通しが悪く、迎えの車が見つけづらい」16%
- 地元や地域団体 …「渋滞対策」、「イベントスペースが必要」
- タクシー事業者 …「一般車と分離」、「壁で見通しが悪く危険」、「車道が狭い」、「一般車整理場移転」
- バス事業者 …「バス乗降場不足 (修学旅行時等)」、「壁で見通しが悪く危険」、「車道が狭い」、「一般車整理場移転」
- 観光事業者 …「バス乗降場不足 (修学旅行時等)」、「修学旅行時等の安全な乗降確保」

- 不満
 - 一般車降車場・一般車整理場のキャパシティ不足
 - 交通動線の錯綜、車道幅員不足
 - 見通しの悪さ(壁)
 - 修学旅行時期などのバス乗降場不足

(3) 危険事象調査

- 見通しの悪さ(壁)に起因する人と車両の接触未遂を2件確認。
- バス待機場への危険な横断を確認。



人と車両の接触未遂 (R4.5)



バス待機場への危険な横断 (R3.12)

➡ 大変危険な事象が、日常的に発生。

3. 改善・改修に向けた今後の方向性

大きく変化した交通需要への対応 (施設の増設)、一般車とバス・タクシーとの動線分離、適正な車道幅員の確保。

↓

全てを広場内に収めることは困難。

↓

駅周辺施設を活用した機能分担の見直し、十分に活用されていない空間の縮小、再配分。 + 視認性の向上。

↓

広場全体の施設配置・空間配分を見直し、利用者の安全性・利便性を向上させるため、既存の上屋撤去を含めた全面リニューアルを行う。

4. 今後

- 今後、関係機関や関係事業者、地元や地域団体等との協議を進め、出入口の増設も含めたゾーニング候補案の検討を行う。
- ゾーニング候補案がまとまり次第報告させていただく。

